

概要

生活経済専攻は、家政学が研究対象とする生活問題を、経済学的分析や家政学の方法、さらには公共政策的な視点も含めて考察することを目的とし、研究者と生活者・市民という二重の視点に立って、現代社会の諸問題と政策課題を追求することを目指しています。また、社会人にも広く門戸を開き、企業や行政、教職など自らの仕事と生活の場での問題提起や経験的知識を、理論的アプローチにより明確に記述・分析できるように、経験と理論を発展的に結合させることを目指しています。

主な進路(就職・進学)

茅ヶ崎市役所, 虎門中央法律事務所, 富山第一銀行, 日本女子大学大学院人間生活学研究科生活環境学専攻,

科目区分	1年次		2年次		計
	科目名	単位数	科目名	単位数	
専攻授業科目	ミクロ経済学特論Ⅰ	2	ミクロ経済学演習Ⅰ	2	4
	ミクロ経済学特論Ⅱ	2	ミクロ経済学演習Ⅱ	2	4
	地域経済特論Ⅰ	2	特殊講義Ⅲ	2	4
	地域経済特論Ⅱ	2	労働関係特論	2	4
	フードシステム特論Ⅰ	2	女性労働特論	2	4
	フードシステム特論Ⅱ	2	特別研究	4	4
	生活と経営学特論Ⅰ	2			2
	生活と経営学特論Ⅱ	2			
	特殊講義Ⅰ	2			2
	特別講義Ⅰ	2			2
	特別講義Ⅱ	2			2
	所属以外の専攻授業科目				
単位数	18		14		32

※休講にあたる授業科目の場合は、授業開講時の年次(1年次または2年次)で履修する。

緑色の科目名は推奨授業科目。
(表中の単位数には含まれない。)

概要

生活経済専攻は、家政学が研究対象とする生活問題を、経済学的分析や家政学の方法、さらには公共政策的な視点も含めて考察することを目的とし、研究者と生活者・市民という二重の視点に立って、現代社会の諸問題と政策課題を追求することを目指しています。また、社会人にも広く門戸を開き、企業や行政、教職など自らの仕事と生活の場での問題提起や経験的知識を、理論的アプローチにより明確に記述・分析できるように、経験と理論を発展的に結合させることを目指しています。

主な進路(就職・進学)

茅ヶ崎市役所, 虎門中央法律事務所, 富山第一銀行, 日本女子大学大学院人間生活研究科生活環境学専攻, 玉川学園, 成蹊中学校・高等学校, 東京都立高等学校, 川越東高等学校, 岐阜県立高等学校

科目区分	1年次		2年次		計	
	科目名	単位数	科目名	単位数		
専攻授業科目	家庭管理特論Ⅰ	2	家庭管理演習Ⅰ	2	4	
	家庭管理特論Ⅱ	2	家庭管理演習Ⅱ	2	4	
	生活と情報特論Ⅰ	2	生活公共組織特論	2	4	
	生活と情報特論Ⅱ	2	特別研究	4	6	
	フードシステム特論Ⅰ	2	消費者問題特論Ⅰ	2	2	
	フードシステム特論Ⅱ	2	消費者問題特論Ⅱ	2	2	
	生活保障・制度特論Ⅰ	2			2	
	生活保障・制度特論Ⅱ	2			2	
	特殊講義Ⅰ	2			2	
	特別講義Ⅰ	2			2	
	特別講義Ⅱ	2			2	
	所属以外の専攻授業科目	※希望者は、科目等履修生にて、学部司書教諭科目10単位取得				
	単位数	22		10		32

※休講にあたる授業科目の場合は、授業開講時の年次(1年次または2年次)で履修する。

緑色の科目名は推奨授業科目。
(表中の単位数には含まれない。)

家政学研究科 生活経済専攻 履修モデル (長期履修者) ※教職専修免許中学校・高等学校『家庭』を取得する場合

概要

生活経済専攻は、家政学が研究対象とする生活問題を、経済学的分析や家政学の方法、さらには公共政策的な視点も含めて考察することを目的とし、研究者と生活者・市民という二重の視点に立って、現代社会の諸問題と政策課題を追求することを目指しています。また、社会人にも広く門戸を開き、企業や行政、教職など自らの仕事と生活の場での問題提起や経験的知識を、理論的アプローチにより明確に記述・分析できるように、経験と理論を発展的に結合させることを目指しています。

主な進路(就職・進学)

茅ヶ崎市役所, 虎門中央法律事務所, 富山第一銀行, 日本女子大学大学院人間生活学研究科生活環境学専攻,
玉川学園, 成蹊中学校・高等学校, 東京都立高等学校, 川越東高等学校, 岐阜県立高等学校

科目区分	1年次		2年次		3年次		計
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	
専攻授業科目	地域政策特論I	2	地域政策特論II	2	地域政策演習II	2	6
	地域政策演習I	2	生活と情報特論 II	2	特別研究	4	8
	生活と情報特論 I	2	特殊講義 I	2	特殊講義IV	2	4
	家庭管理特論 I	2	フードシステム特論 II	2			4
	家庭管理特論 II	2	特殊講義 II	2			4
	フードシステム特論 I	2					2
	特別講義 I	2					2
	特別講義 II	2					2
所属以外の専攻授業科目							
単位数	16		10		6		32

※休講にあたる授業科目の場合は、授業開講時の年次(1年次または2年次)で履修する。

緑色の科目名は推奨授業科目。
(表中の単位数には含まれない。)